

日本社会福祉学会第 62 回秋季大会実行委員会からのご案内

第 62 回秋季大会実行委員会 実行委員長 岩崎 香（早稲田大学）

秋季大会の開催校をお引き受けしたのがつい昨日のような気がしておりますが、あっという間に会期が迫ってまいりました。

1987年に創設された人間科学部は埼玉県の所沢キャンパスにあります。そこでの開催は皆様にご不自由をおかけするという事で、早稲田キャンパスを会場に大会を開催することになりました。また、社会福祉士養成に関わっている教員を中心に準備をすすめておりますが、本当に少数精鋭でございまして、参加して下さる皆様にご不自由をおかけするのではないかとハラハラしております。

しかしながら、一方ではこうした機会をいただきましたことを機会に、学生たちにもさまざまな形で参加、協力を依頼してございまして、大いなる学びの場になればと期待もしております。私自身も査読や情報保障、保育等の調整、若手研究者のためのワークショップの準備等に携わらせていただき、多くの学びを得ているように感じます。特に若手研究者のためのワークショップに関しては、同じテーマを題材に4人の気鋭の研究者にそれぞれの研究手法に関して紹介していただくことを企画しており、研究手法に関して勉強したい学生や若手研究者にとって、貴重な学びの場になると考えております。研究手法の違いを確認しながら、それぞれの有効性と限界に関して、講師からの投げかけ、フロアを含めたディスカッションを行う予定です。学会自体へのご参加はもちろんですが、そうした開催校企画にもお運びいただけましたら幸いです。

学会の主たる会場は井深大記念ホールで、別名「国際会議場」とも言われています。ホールを早稲田大学に寄進した井深大氏は第一早稲田高等学院、早稲田大学理工学部のOBで、ソニーの創始者のひとりとして有名です。次女が知的障害だったということで、障害者施設の設立にもかかわったとされており、社会貢献にも力を注いだ方だったそうです。常に新しいことにチャレンジし、未来を切り開いてきた人と評される井深氏が建てられたホールで、「未来から求められる社会福祉の貢献を考える」と題したシンポジウムを開催することも、とても意義深いことだと受け止めています。

また、懇親会では本学のチアリーディング部に学会を盛り上げてもらう予定でおります。初冬の東京で、皆様のご参加をお待ち申し上げます。